

## ◆関東ブロック推進員等合同研修会 リポート

8月31日～9月1日、埼玉県県民活動総合センターを会場に、「関東ブロック推進員等合同研修会」が開催されました。各地域でのそれぞれの実践の情報交換とともに、大いに語り交流する中で互いに刺激のある2日間でした。

栃木・茨城・群馬・神奈川・静岡・埼玉・千葉・新潟・山梨から

合計80人弱のメンバーが参加。県内からは、甲府市・富士川町・北杜市から参加がありました。



つうしん第5号・2016年10月発行



推進員活動の事例紹介では、「緑のカーテンコンテスト」「エコカルタ手作りの提案」「エネルギー家計簿」「ダンボールコンポスト」「建築士の住まいからストップ温暖化」「環境出前授業」「従業員は、ひとりの市民」「カード活用ワークショップ」と8つの紹介がありました。多様な切り口と、それぞれの地域の事情にあわせた工夫や努力が紹介されました。どの活動も地道な一步一步の積み重ねがあつてこそその現状が垣間見られる時間でした。同時に様々な課題を乗り越えていく日々そのものも楽しんでいるのも感じました。

ポスターセッションではブースの前でさらに議論が深まりました。お互いに聞きたいことを顔を合わせて話せる貴重な時間でした。山梨県のブースでは、地域の文化祭での出展事例と、タダゼミ山梨と連携した自然豊かな所での1泊2日の合宿を事例に、他県の推進員の方から多くの関心が寄せられました。自然や日々の暮らしとのつながりを感じられるような点に関心が集まっていました。



夜の時間は、食事をしながらの交流会兼、情報交換会。その後も夜遅くまで交流の輪が広がりました。各地域の取り組みや課題、そこに向けた解決案など、熱い議論が繰り広げられました。

翌日は、「伝え手のためのガイドライン」(※脚注)の紹介がありました。持続可能な社会への一歩を踏み出していく「伝える活動」をしていく上でのヒントが詰まっていました。その後「推進員活動ツールの効果的な活用」「コミュニケーション方法のスキルアップ」「地球温暖化防止の輪の拡大について」という3つのテーマに分かれてのワークショップの時間。小グループでの話の中で、様々なディスカッションが行われました。

それぞれの地域で、地に足ついた活動が展開されていること。その仲間がたくさんいること。同時に山梨の実践の素晴らしさも感じられるそんな2日間でした。



※環境省「伝え手のためのワークショップ」ページ内に「伝え手のためのガイドライン」他 各種資料が掲載されています。

<https://funtoshare.env.go.jp/roadmap/ws.html>

## ◆第2回ソーラークッカー全国大会～山梨太陽熱エネルギーフェスティバル リポート



「おー、パエリアも作れるのですか」「色々な形があっておもしろいですねえ」

「こんなに多様な使い方があるなんて、はじめて知りました！」

7月16日(土)10:00～15:00。甲府市リサイクルプラザを会場に、

「第2回ソーラークッカー全国大会・山梨太陽熱エネルギーフェスティバル」が開催されました。

「甲府の暑さを逆手にとれ！」のサブタイトルの通り、日照に恵まれた山梨の特質を活かしたステキな時間となりました。

県内はもちろん、栃木・茨城・群馬・東京・神奈川・静岡・岐阜・広島・福岡、計26団体が出展。約400人の来場、ソーラークッカーや温水器の工作教室も200名以上の方が参加されました。

ずらりと並んだ大小さまざまなソーラークッカー。パラボナ型、パネル型、ボックス型、手作りのものから、職人的世界のものまでその多様性もまた魅力のひとつ。

じっくりコトコトと煮物が得意なソーラークッカー。ボックス型のソーラードライヤーではラスクやせんべいを乾燥。それぞれのブースの前では美味しい調理の仕方から、こだわりのポイント、お日様を意識する暮らしから感じること、日ごろ関心のある環境問題についてなど、展示をきっかけに世代を超えて話に花が咲いていました。



工作教室では、子どもも大人も作る姿は真剣。完成した時のニコリとした笑顔が印象的でした。今回のために工夫された「鳥居式やまなしモデル」「狩野式ひまわり」、随時参加できる「甲府市温暖化対策地域協議会のモデル」もたくさんの人だかりが出来ていました。

イベント運営にもエコな工夫が。マイはし・マイ食器持参を呼びかけ、リユース食器を貸出、各ブースのアピールタイムのマイク電力もソーラーパネル搭載の徹底ぶり！！「神は細部に宿る」ですね！



昨年度からの7回にわたる企画運営会議。主催の甲府市温暖化対策地域協議会・NPOみどりの学校をはじめ、出展や広報、当日のサポートまで、影に日なたに、多くの方の甲府の暑さ以上の「熱い」思いが、見事に咲いた一日でした。来年度の全国大会は、静岡県での開催が検討されています。県内でも、この大会のご縁で何か新しい芽がでてくるかも知れません。

楽しみながら和気あいあいとした機会をきっかけに、少ないエネルギーで心豊かな暮らし方、未来につながる循環型社会への糸が紡がれます！

## ◆ストップ温暖化！今私たちにできること～「環境展」開催

さる、8月13日(土)～8月21日(日)、甲州市塩山の「ギャラリー日向」にて、地球温暖化防止をテーマとした環境展が開催されました。主催は、推進員の広瀬勝明さんと、日向正さんによるものです。「温暖化」というテーマで出展された作品群を  
はとともバラエティ豊かで、環境問題を語る切り口はまさに十人十色。多種多様で良いのだなと改めて気づかされます。

当日の会場の様子をレポートします！



### 【展示】

- ・「消費社会の物への飾り、欲望の飾り、それらの副産物を見つめた新作オブジェ」…アーティスト 本杉琉
- ・「ロケットストーブ展示」…推進員 廣瀬勝明
- ・「パネルで見る温暖化」…日向正 山梨県地球温暖化防止活動推進センター
- ・「野鳥たちが暮らす風景写真」…登山ガイド・写真家 廣瀬和弘
- ・「やまなしコブベンチャー☆4 コマまんが」…推進員・イラストレーター すすき律



### 【販売】

- ・「夏に涼しいインド綿や麻素材、エコなファッションがお買い得なギャラリーバザール」…癒しの家

期間中の来場者は約220名。ロケットストーブの展示に興味津々で制作ワークショップを希望する方、ご自身が日頃から考える環境問題の意見を熱く語る方、山野に息づくありのままの野鳥の写真に癒される方、エコカルタの塗り絵に興じる子供たちなど、思い思いに楽しく学ぶ来場者の様子が窺えました。

最終日には出展者の廣瀬和弘さん・すすき律さん・

スペシャルゲスト太田美保さんによるギャラリートークを実施。  
南アルプスのシンボル、ライチョウに迫る温暖化ミニレクチャー  
美しいピアノ演奏の西沢溪谷のスライドと、唄や詩の朗読。  
温暖化が決して他人事ではないこと、私たち自身がまずは  
自然の中に出かけて五感でその豊かさや、生き物の語る  
メッセージを受け取ることの大切さを感じて下さったようです。

今回の試みで、環境問題の啓発、情報交換の場としての  
大きな成果が得られました。ご来場いただいた多くの方に  
「今私たちにできることは何か？」の問いと共に、日々の生活  
を見つめ直すきっかけになったのではないのでしょうか。

文：すすき律 写真：日向和子・廣瀬和弘



### ◆ポール・ラッシュ祭 2016～八ヶ岳カンティフェア～

カンティフェア(County 郡、Fair 祭り)は、古くからアメリカで広く行われている収穫感謝祭です。今年の収穫に感謝して、国境を越えて八ヶ岳を愛する人々の交流のために開催します。エコなお祭り運営にも取り組んでいます

- ・日 時／2016年10月15日(土) 10:00～16:30、16日(日) 10:00～16:00
- ・会 場／山梨県北杜市清里 清泉寮前広場 (問い合わせ TEL 0551-48-2626)



### ◆エコ博エコフェスタ2016

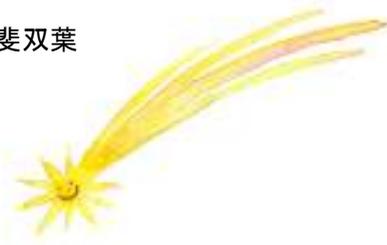
大型ショッピングセンターの中で、お買い物で来店された方の中で環境に関心のある方や無い方にも、楽しみながらエコライフの提案をするイベントです。

- ・日 時／平成28年11月4日(金)～6日(日)午前10時～午後17時(予定)
- ・会 場／ラザウオーク甲斐双葉 (問い合わせ TEL 0551-30-7111)

### ◆第18回ライトダウンやまなし2016～星の郷に暮らそう～ <http://www.lightdown-yamanashi.com>

「天の川が見える星空を次世代の子どもたちに」を合言葉に、必要のない照明を消し星空を取り戻そうと呼びかけます。ライトダウン活動として全国で最も長い歴史を誇ります。1年に1度、1時間だけ、身の回りの明かりを消して星空を見上げてみませんか。満天の星に抱かれた「星の郷」には、きっと幸せな暮らしが息づいています。

- ・実施日／2016年11月5日(土)消灯時間:午後8時～9時
- ・イベント『ライトダウン星まつり』10月15日(土)、16日(日) ラザウオーク甲斐双葉
- ・メインイベント『ライトダウンやまなし』11月5日(土) 18:00～21:00
  - ・会場:山梨県立科学館、南部市民センター、甲州市勝沼びどうの丘、河口湖 北原ミュージアム、街の駅やまなし、八代ふるさと公園・岡公民館、都留市博物館、韮崎銀河鉄道展望公園



### ◆第31回県民の日記念行事 小瀬会場 「やまなし市民活動交流フェスタ」

県民の日の記念事業の一環として「やまなし市民活動交流フェスタ」が開催。県内各地で地域おこしや多様な分野で活動するボランティア・NPOと県民との相互の交流を深めることを目的に、ボランティア・NPOの参画による手作りの企画です。

- ・日 時／平成28年11月12日(土)・13日(日)午前10時～午後3時30分(予定)
- ・会 場／小瀬スポーツ公園内 (問い合わせ 実行委員会 TEL:055-223-1350)



### ◆「若宮賞」表彰事業のご案内 <http://www.e-fujiyama.co.jp/ykz/works/awarding/>

公益財団法人やまなし環境財団は、優れた環境保全活動を行っている県内の個人・団体を表彰します。皆様の環境保全の取り組み事例を広く募集し、優秀な事例について表彰するとともに、その内容を広く県民に紹介します。

- ・対 象 1、清掃美化活動 2、ごみ減量化、資源リサイクル活動 3、大気、水質浄化活動  
4、環境教育に関する活動 5、その他環境保全に関する活動
- ・募 集 8月22日(月)～10月21日(金)まで

◎問合せ:山梨県森林環境部森林環境総務課内 Tel:055-223-1657

発行:『山梨県地球温暖化防止活動推進センター』公益財団法人キープ協会

〒407-0301 山梨県北杜市高根町清里 3545

TEL:0551-48-8011 FAX:0551-48-3577

Mail: [eco@keep.or.jp](mailto:eco@keep.or.jp) URL:<http://www.keep.or.jp/yccca/>